

令和元年度第3回大分市総合教育会議 議事録

1. 日 時 令和元年10月2日(水) 10:00~11:30

2. 場 所 議会棟4階 全員協議会室

3. 出席者

○総合教育会議構成員	大分市長	佐藤 樹一郎
	大分市教育委員会教育長	三浦 享二
	大分市教育委員会委員	古城 和敬
	大分市教育委員会委員	大久保 眞理子
	大分市教育委員会委員	上杉 美穂子
	大分市教育委員会委員	生野 誉士
	大分市教育委員会委員	古城 一

4. 次 第 (1) 開 会

(2) 議 事

1. 講演

講師：出口 治明（立命館アジア太平洋大学学長）

演題「グローバル人材の育成と教育行政に期待される役割」

2. 意見交換会

(3) 閉 会

<p>1. 開会 企画部長</p>	<p>ただいまから、第3回大分市総合教育会議、「教育大綱改訂に向けた有識者との意見交換会」を開会いたします。</p> <p>本日、司会及び進行を務めさせていただきます企画部長の江藤でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>この意見交換会は、今年度見直しを行っております大分市教育大綱の改訂に向けまして、我が国の教育を取り巻く状況や本市の教育行政に期待される役割などについて意見交換を行うため開催したものです。</p> <p>本日は、有識者といたしまして、立命館アジア太平洋大学の出口治明学長をお迎えし、「グローバル人材の育成と教育行政に期待される役割」と題して、ご講演いただいたのち、引き続き意見交換を行う予定となっております。出口学長どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに、佐藤市長よりご挨拶申し上げます。</p>
<p>市長あいさつ</p>	<p>みなさんおはようございます。</p> <p>出口学長、本日はお忙しい中お越しいただきまして、誠にありがとうございます。皆さんご存知の通り、立命館アジア太平洋大学は、大分の宝と言ってもよいと思っております。また、学生の半数が海外からの留学生であり、現在最も日本で活躍している大学の一つではないかと思えます。</p> <p>グローバル化が社会のあらゆる分野で進展する中、語学力やコミュニケーション能力、主体性や積極性などを身に付けたグローバル人材の育成は、これからの教育大綱の中でも最も重要な部分でございます。そして、外国人材の受け入れを拡大する出入国管理法の改正案が施行され、日本語指導を必要とする外国人児童生徒の増加が見込まれており、教育の現場でその受入環境を整えることも重要となっております。</p> <p>このような様々な課題にどのように対応していくのかについての様々な気づきを与えていただけるのではないかと期待しております。</p> <p>本日出口学長のお話を受けまして、教育大綱に反映させていくことはもちろんですが、日々の教育行政につきましても、改善点がございますのでさらなる取組を進めていければと考えております。</p> <p>それでは、出口学長よろしくよろしくお願いいたします。</p>
<p>2. 講演 出口学長</p>	<p>(演題：「グローバル人材の育成と教育行政に期待される役割」)</p> <p>(50分)</p>

<p>3. 意見交換 事務局</p>	<p>それでは意見交換を始めさせていただきます。 古城一委員よりお願いいたします。</p>
<p>古城（一）委員</p>	<p>私は会社を経営しております、貴校の一年生と二年生と一緒に事業をさせていただいています。本当に優秀で、大変助かっております。</p>
<p>出口学長</p>	<p>質問ですが、私も約一年半前に、どうか若い方を早く帰してくださいという出口学長の言葉に非常に触発されまして、それから働き方改革を推進し、県のモデル事業として働き方改革をさせていただいています。</p> <p>今日は総合教育会議ということで、教職員の働き方改革を進めているところですが、本日の講演の最後にその話を少しされておりましたけど、教育現場では保護者の対応も含めて、民間とは違う難しさを働き方改革を推進する上で感じていますので、少しご示唆をいただければと思います。</p>
<p>古城（一）委員</p>	<p>今有名になっている麴町中学校の工藤先生が何冊も本を書かれています、最初に言った今の日本の小中学校の先生の勤務時間を棒グラフにしてどんな仕事をしているのかと分析して、世界の先進国の先生と比べると、日本の小中学校の先生が一番長時間働いている。ただ、一番働いているのに、肝心の授業にかける時間は実は一番少ない。おかしいですね。では何に費やしているかと言えば、部活動の指導やあるいは職員会議。一番長い時間働いて、教育にかける時間は一番少ない。先生方には教育にかける時間を増やして、そうでない仕事を少なくしていく方向しかないと思います。では、クラブ活動は保護者の皆さんの中にも、サッカーをしていた人がいれば、指導者になってもらえばよいと思うのですが、その方を雇うとなったら予算が必要です。そうすると市の全体の予算の中で、どう分配するかという問題にもなりますので、そういう全体を考えると簡単な解はないと思います。やっぱり誰が考えても先生が勉強しないと良い教育はできないので、先生の労働時間を少なくして、しかもその中で教員が教育に費やす時間を増やす方向をどうやって行っていくのかに尽きるのではないのでしょうか。</p>
<p>出口学長</p>	<p>ありがとうございます。先生は日本一の大読書家でたくさん本も書かれています。やはりリーダーが大事だと思いますが、各校長先生に是非読んでもらいたい本があればご紹介いただけないでしょうか。</p>
<p>古城（一）委員</p>	<p>校長先生に読んでほしいのは、今日もお話しした「教育格差」は読んでほしい気がしますね。日本全体の話が丁寧に書かれていて、それであつと</p>

上杉委員	<p>驚くような指摘もあるんですよ。日本で一番簡単な学校の校長先生はどこですかというのが書かれているんですよ。一番簡単な学校は、灘高校、開成高校の先生が一番楽という話なんです。勉強する人ばかりなので、何もしなくてもみんな東大行きますと。</p> <p>まさに教育行政を分析している本ですので、これは校長先生に読んでいただきたいと思います。</p> <p>一点お聞きしたいのですが、個性に対してということで、比べない、好きなことを存分に子どもにさせるというお話がありましたが、私も中学生と高校生の母親なのですが、自分のことを考えると、兄弟を比べてしまうこともあり、そのままを見つめるというのは難しいところがあります。好きなことをさせるということは、そちらに向けてしまうと勉強しましょうということと離れてしまうのではないかと心配もあります。好きなことをさせることと勉強することをどのように両立させていけばよいのかお聞かせください。</p>
出口学長	<p>実は正直に言いますと高校、中学の時に、好きなことを本当に分かっている子どもと言うのはそんなにいないんですよ。好きなことがあれば、それはすごく個性の強い子なので、徹底的にやっつけていけばいいと思いますよ。それは存分にさせると。しかし、ほとんどのお子さんと言うのは何が好きかわからない。迷っているんだったらとりあえず勉強ちゃんとしたらいいんじゃないとよく言います。実は、下関西高校で先週講演した時に、疑問があったらすぐにメールしてといいましたら、すぐに高校生からメールがありまして、やりたいことがわからない、どうしたらいいですかとメールがありました。1階と2階で見える風景が違うと。わからなかったらとりあえず勉強して、大学に行ったら世界が変わってきますので、そこで見つけたらいいと。1階と2階という発想はなかった。分からなかったら、学校の勉強頑張ったらいいんじゃないかと。好きな勉強を頑張ったくらいでいいんじゃないかと。それから兄弟で比べてしまうという話がありましたが、ついで兄弟で比べてしまうかもしれませんが、上杉さん自身もご兄弟がいらっしゃるんですか。</p>
上杉委員	<p>姉がいます。</p>
出口学長	<p>比べられるのは嫌じゃなかったですか。だから自分も嫌なことは子どもにはしてはいけないということなんですね。</p>

生野委員	<p>今日は貴重なお話ありがとうございました。私も仕事の方でも色々教育して指導する立場にあるのですが、先ほど言われていました、素直で我慢強くて協調性があるという、正直そういう部下がほしいと本当に思ってしまうのですが、では自分がそういう部下になることを求められると、非常に息苦しいし、自分のやりたいことができないと思います。例えば、いいアイデアがでたりした場合、上司になかなかそれを言いづらいなど。相手の立場になって考えると言うことが非常に大事で、部下の個性、教育委員会で言うと子どもの個性を伸ばすということが必要であると感じました。今日は本当にありがとうございました。</p>
大久保委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>好きなことをやらせてあげようというお話がありましたが、以前中学の授業を見に行った際に、理科の実験を行っていたのですが、それまで授業を全然聞いていなくて教科書も開いていなかった生徒が実験を行う時には一番前に行って真剣に見ていたのですね。そのような子どもの好きな事、長所を先生が見つけてあげて伸ばしてあげる、その指導力と言うのが大切だなと思いました。今日は本当にありがとうございました。</p>
事務局	<p>今日のテーマはグローバル人材の育成と教育行政に期待される役割ということですので、そういう面も含めて古城委員お願いします。</p>
古城（和）委員	<p>今日はありがとうございました。グローバル人材についてですが、APUの留学生の方は日本でいろいろなところで活躍されていますが、日本人の生徒は、外国にたくさん行かれているのでしょうか。</p>
出口学長	<p>行きますね。あまりいい話ではないんですが、ひとつの会社にずっと勤める人は少ないです。どんどんチャレンジをしています。実はAPU同窓会の組織が36あるんですが、26は海外なんですよ。僕もいくつか回っていますが、シンガポールで去年集まったら、半分は日本人なんですよ。</p>
古城（和）委員	<p>そういったグローバルな意識というのは大学の中で何が一番の要素なのでしょうか。</p>
出口学長	<p>これは日本の常識がないということが一番でしょうね。2人部屋は日本人と外国人を必ず一緒に部屋にしますから。全く常識が通じない人を同じ部屋にしますから、そこで気づいて考えるきっかけになるんですよ。APUの一回生は原則全員寮に入りますので、ピア・ラーニングと言っているの</p>

	<p>ですが、人間は怠け者なので、一人では勉強できないと。ミネルバと言う世界で一番進んだ大学があって、授業は全部インターネットです。好きな場所で勉強できるけど、学生は寮に合宿するんです。大学の建物はなく、学生寮だけなんです。しかもこの学生寮は数カ月ごとに世界を転々とするんです。つまり、インターネットで知識は教えることはできるけど、やっぱり勉強するときは議論したり、仲間と競い合わなければ、一人だったらつい怠けてしまうんです。インターネットの講義中にラグビー見たいとなってしまうんですよ。やっぱり仲間と言うのはすごく大事ですね。</p>
古城（和）委員	<p>企業は個性豊かな人を求めると言いながら、協調性があって、素直で、上司の指示をよく聞く人材を採用している。そのようなことになると考え方が狭まってくるように思います。</p>
出口学長	<p>最近企業も気がつき始めていると思います。上場企業の社長でも成績採用にもっていきと言っている社長が増えています。</p>
古城（和）委員	<p>本日は個性のとらえ方にも気づかされましたので、もう一つお願いします。褒めて自己肯定感を高めるということは、学校の先生はみんな努めて行っているのですが、道具として使いがちではないかと思うのですが。</p>
出口学長	<p>先生は忙しいのでみんなを褒めてしまうでしょ。みんなを褒めないでと言ってもきりが無い。個々の子ども達に対して、よくできたねと褒めてあげることの自己肯定感はワンオンワンの関係なんです。そういうことをやろうと思ったら、先生たちをもっと暇にしてあげないとできないです。</p>
古城（和）委員	<p>子どもを認めるという形の意識がもっとあったらいいなと思います。</p>
出口学長	<p>グローバルについて言えば、今年から別府市と協定を結んで、別府市の小学生をAPUの学生寮にいて、留学生と英語での交流を始めていますので、もし大分市さんも興味があり、ご相談がいただければ、例えば大分の小学生と英語のサマーキャンプとかいろいろな話ができると思いますので、ご相談ください。</p>
事務局	<p>APUの学生を活用して、大分市も小学校や幼稚園でいろいろな場面で活躍していただいています。</p>
出口学長	<p>是非どんどん使っていただけてください。</p>

<p>市長</p>	<p>ありがとうございました。今の話の続きですが、好きなことを見つける場とか、最後までやりぬくこととか、そういうことを見つける場がたくさんあるというのが大事であると思います。現在、ラグビーワールドカップが開催されていますけど、これまでラグビーを知らなかった子どもたちが、自分もラグビーやってみたいとなっていたりします。そういう場が大事であると思います。グローバル人材で言いますと、多様な文化の人に会うとか英語を使えるような場などですね。先ほど合宿が大事と言う話がありましたけど、例えば、APUのエクステンションが大分にあるとですね、普段は働いていて行けない人でも、そこで勉強をして資格を取得できるなど、そういう場を作るということも行政としても大事な役割かなと思います。</p>
<p>出口学長</p>	<p>おっしゃるとおりで、また色々ご相談させていただきたいと思います。APUではビュッフェレストランをやらせています。色々な会議があるので、学生が好きなものを選んで、自分が通いたいものを作って、いろいろなビュッフェを見ながら自分のしたいことに気づけていける。行政にできることは、大分県、大分市でいろいろな場があればこれは活性化につながると思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>先生は企業戦士としても働いてこられて、本日は教育がテーマですが、実施例やこれが良かったという点はございますか。</p>
<p>出口学長</p>	<p>学長も社長も一緒に、大きい方向性を出すこと、一人でできることは限られていますので、みんなに気持ちよく働いてもらうことですね。大きい方向性を出すことですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>また、今日は市役所の幹部が部長を初め来ていますので、何か力づけをお願いします。</p>
<p>出口学長</p>	<p>さっき申し上げたように、早く帰ること、やはり人・本・旅で、いろいろな人に会ったり、本を読んだり、いろいろな面白いところに行って、皆さんの脳みそが刺激を受けなければ、アイデアは出ませんので。仕事は集中して出来るだけ早く帰ってくださいということです。働き方改革が一番大事だと思います。机の前に遅くまでいることは、疲れるだけで良いアイデアは出るとは思えません。</p> <p>中には徹夜して達成感が得られたので、若い職員にもこの達成感を味あ</p>

	<p>わせたいというおじさんがいますけど、これは脳の構造で答えが出ていて、徹夜をしたりすると脳が疲れますので、脳を守るために気持ちが良いホルモンが出るんです。徹夜をすると生産性とか効率はがた落ちなんですけど、ホルモンのせいで、頑張っていると言う錯覚を起こしているだけなんです。やっぱり人間は肉体の限界を超えられないので、働き方改革が良いアイデアの基本だと思いますね。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。時間となりましたので、最後に三浦教育長よりお礼のご挨拶をさせていただきます。</p>
教育長	<p>お礼のあいさつ</p>
事務局	<p>ありがとうございました。以上をもちまして、第3回大分市総合教育会議を終了いたします。本日は誠にありがとうございました。</p>